



### 大きくなることを楽しみに…花組

3月になり、シール帳も最後のページになりました。子どもたちと一緒に4月からめくって行って、3月のページをたどりながら「ここで花組さんが終わり。さあ、その次は？」と次の絵のないページをめくると、驚いた顔の人もありましたが、少し間をあけて「分かった！もう終わり！」という声があがりました。「そう。このシール帳は花組さんが終わったら終わり。みんなは花組さんが終わったら、何組？名札は何色になるでしょう」と尋ねると「風組！」「黄色」と子どもたち。「新しいシール帳は風組さんでもらうからね」と言うとなんだか楽しみな様子でした。担任が留守にしていた日があり、集まりの頃に戻ると、片づけを自分達でしていたことを補助の先生に褒められていました。「ただいま。みんな先生がいなくても片づけができたの？すごい！風組さんになれそうね」と私が言うと、「私はね、〇〇を片づけた」「僕はスリッパを並べた」など口々に自分のできたことを教えてくれます。「ねえ、抱っこしてみて。大きい？」とAちゃん。風組になるってことは、きっと大きくなっているから確認してみようという気持ちなのでしょうね。B君は「僕はね、もう星組になりたい」と風組も飛び越して早く大きくなりたいという気持ちでいっぱいの子です。『たまごにいちゃん』の絵本を読んだ時も、「たまごにいちゃんみたいにまだ小さい人がいい人？」と聞くと「いやー」と子どもたち。「先生は子どもになりたいなあ」なんて言っていると「僕は大きくなるばっかり！」とC君。大きくなる自分を感じられているって素敵だなと思いました。

花組さんは午前保育の日はおやつがあるのですが、風組からはありません。コップを持ってきたり、おたよりばさみを自分の鞆に入れたり、少しずつ風組の生活に慣れるようにしていますが、おやつはみんなの楽しみでもあるので大丈夫かな？と思いつつ「風組さんって、おやつがなくとも集まれるんだって。すごいね。みんなも風組になるからできそうかな？」と聞くと「できる！」と子どもたち。「じゃあ、おやつがなくとも大丈夫かな？」と聞くと「え？」という顔の人、「できる！」と自信をもっている人「まだ花組！」と主張する人いろいろな反応が返ってきました。でも、「もう風組になるしね。今日はこのまま帰ってみようね」とおやつなしで帰りました。後日保護者の方から「C君、もう風組さん」と言うので「それはもうちょっと後かな」と答えると「だっておやつ食べなかったもん」と言っていたそうです。風組さんのようにおやつがなくとも降園まで過ごせたことで、もう気分は風組さんのようです。

大きくなるってことは子どもたちにとってとても嬉しく楽しいことなんですね。一緒に喜んで新しい春を迎えたいですね。(辻村)

### ♪ よい子になって続きますよ～(風組)♪

優しくしてくれた星組さんとお別れももうすぐ。風組の子どもたちに「お別れに何かプレゼントしない？」と提案すると「するする」「学校に行くから鉛筆立てはどう？」「いいねえ」「家にもそんなのあるよ・・・」ということで、附幼伝統の鉛筆立てをプレゼントすることになりました。

これまでの製作活動と違うことは、自分のものではなく人のためにつくるといことと、工程を分けて何日かかけてつくるといこと。「星組さんに内緒でつくろう！」ということで、最初の工程（ピンに粘土やビーズをつける）は、星組さんが里山に出かけて留守の日を選びました。

次の日からが大変です。「さっき星組さんが通った」「なんかチラって見て行った」「お部屋にきたからさっとこの前に立って隠したんよ」と、スリル(?)も味わいながらつくっていきました。星組さんも見て見ぬふりやちょっとだけ楽しみなそぶりを見せてくれ、励みにもなりました。

色を付ける、ニスを塗る、メッセージカードをかく、ラッピングするという工程を経て、素敵なお心もちのプレゼントができていきます。カードに「どんなことを書いてほしい？」と尋ねると、「うさぎのお世話を教えてくれてありがとう」「ホットケーキありがとう」「カレー、梅ジュースありがとう」「優しくしてくれてありがとう」「遊んでくれてありがとう」「学校頑張って」などと星組さんへの思いがあらわれてきました。

「どうやって渡す？」とまた子どもたちに投げかけると、「渡しに行く」「遊戯室に集まる」「集まったら鬼ごっことか一緒にしたい」「梅ジュースをつくってもらったから、一緒に梅ジュースやホットケーキを食べたい」「など子どもたちなりに一生懸命考えます。もちろんこちらには案があるのですが、問いかけ相談しながら、なんとなく自分達で考えて決めたような気持ちになるところがミソです。「星組の先生に聞いたら9日なら遊戯室に集まれるって」「何か食べたいって言ってたから、同じお弁当をみんなで一緒に食べるってのはどう？」「いいねえ」「飾り付けとかもする？」「プログラムっていうのがあるんだけど」「初めの言葉とかも言ってみる？」・・・作ったり話したりやってみたりしながら具体的に形にしていき、前日は風組みんなで遊戯室を飾り付けたり椅子を並べたりしました。準備を終え、「星組さんに『明日お別れ会を開きます。来て下さい！』ってご招待しに行こう」というと、「そしたら内緒にならないじゃん！」とA君。「ずっと言わなかったら来てもらえないじゃん」と友達に言われて納得していました。

お別れ会当日、飾り付けやプレゼントを星組さんが喜んでくれ、「心と歌とプレゼントをありがとう」と言ってもらって、風組のみんなは大満足。「お別れ会、大成功！」とバンザイしました。うまくいったという充実感とができたこと誇らしい気持ちでいっぱいになったことと思います。

風組は、卒業式で「卒業生を送る歌」を歌います。その歌詞の最後は「♪僕達私達、良い子になって続きますよ～」です。優しくしてくれた星組さんありがとう。風組のみんなも素敵なお星組さんを見習って続いていきますよ。みなさん見守っていただきね。(大森)

### 桜咲いたら1年生♪(星組)

たくさん遊んだ幼稚園とも、お別れの時が来ました。3学期に入ると、子どもたちにも「小学校に行くんだ」ということが現実味をおびてきて、楽しみでワクワクしている姿、新しいことにドキドキしている姿が見られます。

先日、2年生にバスの乗り方を教えてもらい、給食も一緒に食べました。目をキラキラ輝かせながら、2年生の先生と子どもたちの話を聞く子どもたち。「バスカード知っちゃるよ！」「先生、静かに乗るんよね」「席もね、おいしいちゃんやおばあちゃんには譲ってあげるんよ」と、自分達の経験と教えてもらった事とを、一生懸命思い返して覚えようとしているのだなと感じました。給食も、食べ始めるまでは2年生と一緒にの教室で食べられるという事で、ウキウキしていた子どもたち。そのウキウキした気持ちを大事にして、1学期過ごせるといいなと思ったひとときでした。後日、2年生にお礼のお手紙を書きました。「バスの乗り方をおしえてくれてありがとう」「給食配ってくれてありがとう」「勉強頑張ってるね」など、子どもたちなりにいろいろ感じて、「ありがとう」の思いがあらわれたお手紙が完成しました。2年生のところに持って行くと、「かわいい子が来たー」と歓迎ムード。2年生も、とてもうれしそうに受け取ってくれ、星組さんもうれしい気持ちでいっぱいになって、「来年は小学校に来るからよろしくね」とお願いもして帰りました。

幼稚園では、風組さんに飼育の引き継ぎをしました。「何を誰か教えるか決めてから行くよ」と声をかけて、4月なら私も間に入って決めたらいいかなと思いつつ見守りました。すると、「先生、ホワイトボード使っているの？」と聞くので「いいよ」と預けてみると、飼育の内容を書き出し、役割分担をしていた子どもたち。話し合いを進める子、内容を聞いて自分のしたい事を伝える子、話し合いの中にもいろいろな役割があって、成り立っていくのだなと感じました。もちろん、風組さんへの対応もはりきってしてくれました。

そして、卒業に向けて、壁面と一緒に考えて飾ったり、卒業式の練習をしたり、保育室の掃除をしたりしてきました。卒業式は、「みんなが大きくなったところを見てもらう大事な時間なんだよ」と話をして練習してきました。証書をもろうときの凜々しい表情、歌うときのしっかりした声に成長を感じました。この園での生活が、「こころのねっこ」となって、桜が咲いたら小学生として楽しく元気に過ごしていけることと願っています。(厚東)

1年間、子どもたちの様子を記してきたさくらんぼも、これで今年度は最後です。子ども達が思いをもって生活している園での様子を、少しでも感じて頂けていたら幸いです。幼稚園が楽しい、自分の思いを伝える事が楽しい、友達と一緒に楽しい、周りの自然とかかわる事が楽しいなど、楽しい事がたくさんの中で、子どもたちは本当にこころもからだも大きくなりました。園でしっかり楽しめるという事は、ご家庭で子どもたちの気持ちが十分に育っているからだと感じます。これからもどうぞ、よろしくお願いたします。(編集：厚東)